

第5回 スポーツ傷害研修会報告

学術部 村田 守宏

真冬の晴天の下、1月31日（日）に第5回スポーツ傷害研修会が開催されました。会場は、名古屋市栄にある名古屋医健スポーツ健康専門学校。ここは、（一社）愛知県鍼灸師会の行事で第1選択肢として使われる施設であります。第3回および第4回研修会は、他の施設で行ったため、久しぶりに「ホーム・グラウンド」へ帰ってきたような安堵感がありました。その上、参加者32名に対して、2部屋を開放しての講義は、広々としていて運営もとても流れの良い中で行うことができました。やはり、使い慣れた会場は、ありがたいです。それでは、研修会の報告に入ります。

- ◆第1講義 「アスリートコンディショニングの実際」 佐藤 丈能
- ◆第2講義 「足部アーチと脛骨過労性骨膜炎に対するテーピング（実技）」

午前中は、平成27年度 愛鍼会 スポーツ傷害研修会の主任・講師である佐藤丈能先生の講演でした。今回は、座学として「コンディショニングの概念、目的、コンディショニングを崩す要素、指標および評価法」について詳しく説明されました。

そんな中、とくに印象に残っているお話は、「心因的因子の評価法の難しさと鍼灸治療が及ぼす影響」です。佐藤先生は、コンディショニングの維持には、心理的因子の影響が大きく、それを維持するには、心の状態把握が大切であると。そして、心の治療には、鍼灸が貢献できる可能性が大いにありとお話されました。

2020年、来たるべき東京オリンピックへ向かって、アスリートのコンディション（心身共）向上に鍼灸が大いに利用されることを期待したいと思います。

次に実技について。

「足部アーチの問題（舟状骨疲労骨折、中足骨疲労骨折、有痛性外脛骨傷害）と脛骨過労性骨膜炎（シンスプリント）」のテーピングを2人1組になり、参加者全員にその巻き方を経験していただきました。3タイプのテーピング法を、先生のデモンストレーションのあと、一種類毎にDVDをみての実技は、とても分かりやすく勉強になりました。実技も5回目ともなると受講生の皆さんテープの扱いが上手になってきているようで、来年が更に楽しみになります。

◆第3講義 「検査データの読み方」

四日市羽津医療センター 服部順一

今回、はじめて本研修会で、臨床検査のお話しをしていただきました。これは、東西両医学（実際の病院での検査方法やデータの診方）を学ぶことにより、患者さんとのコミュニケーションをより一層深めていただければと考えて企画されたものです。

講師の服部先生は、28年間 検査業務に携わっている現役の臨床検査技師であり、難解な検査用語をわかりやすく表現していただきました。

講義内容は、身体計測（身長、体重、BMI、腹囲、血圧）、眼科、聴力、胸腹部 X線検査、血液生化学検査、尿、便潜血検査、CT、MRI、腹部エコー検査など。動画を用いてのスライド解説は、「検査の今」を知るには、とてもいい機会になったと思います。

ただひとつ残念だったのは、講義項目があまりにも多く、時間内の解説では、多少無理があったこと。次回は、鍼灸師の必要とする検査項目をいくつか選び、その内容をゆっくり説明していただけるよう お願いしたいと思います。

◆第4講義 「スポーツ障害に対する頭鍼療法」

セントラル田中 田中 法一

本会監査でもある田中先生の講演です。スポーツ障害に対して臨床からまとめられた内容をスライドで紹介されました。

① 当院で扱ったスポーツ障害

脳挫傷、上腕二頭筋長頭腱炎、野球肘・テニス肘・ゴルフ肘・テニス肘・水泳肘、外傷性頸部症候群、各腱鞘炎、筋筋膜性腰痛、梨状筋症候群、肉離れ、筋断裂、半月板損傷、靭帯損傷（外側・内側側副靭帯損傷、前十字・後十字靭帯損傷）

② スポーツ障害の発生率

野球（85.9%）、サッカー（77.6%）、陸上競技（74.4%）、バスケットボール（61.6%）、バレーボール（47.2%）、

テニス（29.1%）、ラグビー（23.1%）

③ 当院での治療法

1. 脈診をして本人の体調を診察
2. 外傷・障害部位の診察
3. 可動制限、圧痛の確認
4. 経絡的および局所治療
5. 患部の保温または冷湿布
6. 固定が必要な時はテーピング固定及び補助板での固定

④ 治療風景の写真（鍼、セラミック灸、テープ固定）

足関節内反捻挫、橈骨腱鞘炎、肘関節内側靭帯損傷、膝痛症及び内側靭帯損傷

実技では、モデルを使って左肘と左膝への刺鍼をおこない、最後に頭鍼療法を紹介されました。頭部への刺鍼は斜刺でしたが、思った以上に深く（1.5cmほど）、「ドーズ過多は、ないですか？」の質問には、「患者との信頼関係があればそれは、問題のない事」と答えてみえました。

実技中は、先生の周りをほとんどの受講生がぐるっと取り囲むような感じで、スキル（技術）に対する関心の高さを知ることができました。本講演は、アンケートでも好評価がでており、来年度に向けて、更なる実技の充実を図っていきたいと思っています。

以上、4講義。本年度、最後の研修会報告でした。



佐藤 丈能 講師



服部 順一 講師



受講 風景



田中 法一 講師 (刺 鍼)